4F学内
芸祭
1958

# 東京芸術大学芸術祭

昭和33年10月31日→11月 3 日上野公園内東京芸術大学

art fair

■この広告に記載のレコードを12月10日までの間にお買上げの方に、素晴しい東芝製品が当るからくじなしのスピードくじを差上げます。詳細は最寄り東芝レコード特約店にお問合せ下さい。

東芝が初秋に贈る名盤

巨匠フルトヴェングラー　不滅の決定盤

交響曲-未完成（シューベルト）

ウィーン・フィルハーモニー

HA－1085　30cmLP　¥1,800

バリトン歌手、フィッシャー=ディースカウの名唱盤

美しき水車屋の娘（シューベルト）

HA－1106～7　30cmLP 2枚　¥3,600

東芝のエンジェル レコード

1個　30円
3個入　90円
6個入　180円
10個入　300円
15個缶入　450円

ゆたかな泡立ち　あふれる香り…

資生堂石鹸

ホワイト

東京藝術大学図書館

第五回

# 芸術祭

東京芸術大学

例年の如く芸術祭を迎えることとなった。暑かった夏も漸く去って、台風一過、天地は清涼の気に包まれる。自然はソロソロ冬眠に入る仕度をはじめるであろうが、人間にはこれからが、心もすみ、考えも生き生きとする。今年のお祭はそれぞれ異なる計画があるのであろうか。芸術は常に変って行く。芸術祭も自ら変って行くのであろうか。序文だけ毎年同じというのも気がきかないが、事新しくいうこともないので、唯一言。

学長　上野直昭

耐用年数をとっくに過ぎた歴史的・国宝的？木造建築の校舎をかかえながらも、なんとか無事に芸術祭を迎えることができました。我々芸大生が平素から努力し、研究してきた結果をここに公開します。この機会に共に楽しみ、また、大いに批判を仰いで、更に驀進して充実したものへ向って行きたいと願っています。

東京芸術大学第5回芸術祭運営委員会

東京藝術大学図書館之圖書
和漢書
第　ム　號
冊
377.9
9
5

■この広告に記
10日までの間
素晴しい東芝
らくじなしの
じを差上げま
は最寄り東芝
ド特約店にお
せ下さい。

東芝の工

訂正とお知らせ

ケンス・パーティーは都合によって時間，会場の変更があるかも知れません。あらかじめ御了承下さい。

P1下から3行目「更に驀進して充実したものへ向って」は，「更に充実したものへ向って驀進して行きたいと」の誤りです。

P4→P7にかけての各種催物は，全て音楽学部奏楽堂に於て行われます。

P6 古典音楽会11月2日(日) 0.00p.m.は 6.00pm.に。

美術学部彫刻科(石井敏室)作品展は都合によりとりやめになりました。

P17 左下から7行目 弦楽科は器楽科(弦)の誤りです。
右下から4行目 ピアノ科 〃 器楽科(ピアノ オルガン)〃

P23 下から13行目 大川 浩は大川宗男
〃 12 〃 (声3) 長広比呂志は(楽2)長広比登志の誤りです。
DIRECTOR (作3)佐藤 真を追加
1957年は1958年の誤りです。

右上

音楽学部模擬店御案内

| | | |
|---|---|---|
| スパゲッティ屋 | 音楽学部ホ6室 | |
| 民族音楽鑑賞喫茶 | 〃 | 新館地下 |
| ら・め・る | 〃 | ホ3室 |
| ムーン・ライト | 〃 | |
| ジャズ喫茶 VIVO | 〃 | ホ16室 |

奏楽堂は定員制のため、開演1時間前に整理券を発行いたします。前以って御了承下さい。

東京藝術大学 附属図書館

東京藝術大学 和漢書 第ム號 冊ノ 圖書館之圖章

3779
9
5

# 第五回 芸術祭

## 東京芸術大学

例年の如く芸術祭を迎えることとなった。暑かった夏も漸く去って、台風一過、天地は清涼の気に包まれる。自然はソロソロ冬眠に入る仕度をはじめるであろうが、人間にはこれからが、心もすみ、考えも生き生きとする。今年のお祭はそれぞれ異なる計画があるのであろうか。芸術は常に変って行く。芸術祭も自ら変って行くのであろうか。序文だけ毎年同じというのも気がきかないが、事新しくいうこともないので、唯一言。

学長 上野直昭

耐用年数をとっくに過ぎた歴史的・国宝的？木造建築の校舎をかかえながらも、なんとか無事に芸術祭を迎えることができました。我々芸大生が平素から努力し、研究してきた結果をここに公開します。この機会に共に楽しみ、また、大いに批判を仰いで、更に驀進して充実したものへ向って行きたいと願っています。

東京芸術大学第5回芸術祭運営委員会

ビクターが今春、日本で初めて
発表した ステレオ(立体)レコードは、その
想像をこえた立体感と、すばらしい音質で
今や、レコード界に ステレオ・ブームを
まき起すにいたりました。
ビクターでは
この立体レコードの演奏器を
5,900円の ステレオ ホーム プレヤーから
豪華な会場用ステレオ演奏装置まで
各種発売いたしております。
どうぞ
ビクター ステレオ Hi-Fi オーディオラを
一度ビクター特約店でご試聴下さい。

ビクター・レコード、テレビ、ラジオ、電蓄、拡声装置



## 新刊案内

**オペラ史(下)** D・J・グルート著 服部幸三訳 定価 750円

**音楽の歴史** 属啓成著 定価 270円

**大作曲家とそのレコード** 志鳥栄八郎編 定価 500円

**音楽社会学入門** A・ジルバーマン著 吉崎道夫訳 定価 360円

**フランス音楽史** H・ラヴォア著 小松耕輔 小松清共訳 定価 380円

**世界民謡全集** 門馬直衛編 (既刊)第1巻イタリア篇Ⅰ 第2巻イタリア篇Ⅱ 全16巻 各580円

**現代の作曲家** 柴田南雄著 定価 230円

**日本伝統音楽の研究** 小泉文夫著 定価 750円

音楽之友社




| | am 9 | 10 | 11 | 12 | pm 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 fri 奏楽堂 | あいさつ | 学響コンサート GP (学内学生のため) | | | 作品発表 | | | | | 演劇 | | |
| 31 fri 他 | | | | | | | | | | ダンス・パーティー(第1) フォーク・ダンス | | |
| 1 sat 奏楽堂 | 古典音楽会 | | | | 邦楽演奏会 | | | ポップスコンサート | | 演劇 | | |
| 1 sat 他 | | | | | スライド (第7) | | | | | ダンス・パーティー(第1) フォーク・ダンス | | |
| 2 sun 奏楽堂 | | 室内楽 (Aプロ) | | | 吹奏楽 | | 学響コンサート (Aプロ) | | | 古典音楽会 | | |
| 2 sun 他 | | | | | 映画 (第7) | | | | | ダンス・パーティー(第1) フォーク・ダンス | | |
| 3 mon 奏楽堂 | | 室内楽 (Bプロ) | | | 声楽コンサート | | 学響コンサート (Bプロ) | | | 演劇 | | |
| 3 mon 他 | | スライド (第7) | | | | 講演会 (第7) | | | | ダンス・パーティー(第1) フォーク・ダンス | | |

# 各種催物案内

## 学響コンサート

10月31日（金）　10.00am……G.P
11月2日（日）　3.00p.m……Aプロ
11月3日（月）　3.00p.m……Bプロ

——A プ ロ——

1. 越天楽変奏曲　近衛秀麿（編曲）
2. オーバード　プーランク
3. 運命の歌　ブラームス
4. 「ニュールンベルグの名歌手」前奏曲　——ワグナー——
   指揮　遠藤雅古

——B プ ロ——

1. 「ロザムンデ」序曲　シューベルト
2. 演奏会用アレグロ　森村寛治
3. 交響曲第七番　イ長調　ベートーヴェン
   指揮　森村寛治

## 室内楽

Aプロ……11月2日（日）　10.30a.m
Bプロ……11月3日（月）　10.00a.m

——A プ ロ——

1. 打楽器とピアノの為のリズミック——E. BOZZA
   打：雨宮靖和、　P：渋谷毅
2. ピアノ五重奏　イ長調——ドヴォルザーク
   VnⅠ：市原利彦　VnⅡ：藤沢一彦　Vla：中塚良昭
   Vc：内田勝彦　P：矢野義明
3. フルート四重奏曲　ニ長調——モーツアルト
   Fl：佐藤博　Vn：菅野武夫
   Vla：野上阜三博　Vc：内田勝彦
4. 弦楽四重奏曲　ハ長調「ラズモフスキー」——ベートーヴェン
   VnⅠ：角道徹　VnⅡ：落合孝男
   Vla：菅沼準二　Vc：飛山宣雄


近代ピアノ曲集

ドビュッシー　ベルガマスク組曲　¥360
（ジョベール社版権獲得）

フランク　二つのプレリュード　¥250

ムソルグスキー　展覧会の絵　¥150

新宿区東五軒町25

近代フランス歌曲集

フォーレ歌曲集（アメル社版権獲得）　¥350

五月　悲歌
僧院の廃墟で　夢のあとで
トスカナのセレナード　讃歌
漁人の歌　水の辺に
リディア　月の光

全音楽譜出版社




——B プ ロ——

1. クラリネット三重奏曲——ベートーヴェン
   Cl：小畑恵洋　P：外山準　Vc：内田勝彦
2. ピアノ五重奏曲「鱒」——シューベルト
   P：安芸曇子　Vn：舘野晶子　Vla：玉置勝彦
   Vc：三本一郎　K.B：渡辺哲雄
3. 七重奏曲　変ホ長調——ベートーヴェン
   Vn：町田映子　Vla：兎束俊之　Vc：矢島富雄
   K.B：松本武全　Cl：津田軍二　Hr：三浦朝光
   Fg：近藤寿行

## 声楽コンサート

11月3日（月）　0.00p.m

1. 音楽会の中に入る「オペラ二重唱」
   A　「椿姫」より　思いつめていました
   B　「ボエーム」より　美わしい娘よ
   C　「バタフライ」より　愛の二重唱
   Sop：渥美ノブ　Tn：五十嵐悟　P：川口耕平
2. テノール独唱「トスカ」より
   A　妙なる調和
   B　星は光りぬ
   Tn：渡辺恭夫　P：小島邦子
3. 四重唱「愛の歌」より
   Sop：飯山恵己子　A：田中道子　T：板橋勝
   B：岡弘道
   伴奏　土井陽子　伊集院ヒロ子
4. 男声合唱
   ニグロスピリチュアル　五曲
   ジェロームカーン　四曲
   合唱：三年声楽科
5. 日本歌曲研究発表
   A：橋本国彦集　Sop：松村伸子
   B：団伊玖麿「抒情歌」　Sop：木下昌子
   C：山田耕作集　Sop：小関喜見子
   D：中田喜直「六つの子供の歌」　Sop：松村恵美子

## ポップス・コンサート

11月1日（土）　3.30p.m

ポップスオーケストラを主体としてスイングジャズ
デキシーランド、ジャズ、タンゴ、シャンソンその他を演奏する。
指揮：山内忠

## 吹奏楽

1. エルガー　行進曲「威風堂々」
2. ガブリエル　二組の金管楽器群の為の音楽


内外管弦楽器と楽譜なら何でも揃います

TEL（56）4715　4735　銀座4丁目　山野楽器店

3. チャイコフスキー　イタリア綺想曲
指揮：宮本明恭
吹奏楽：芸大吹奏楽団

## 古典音楽会

11月1日（土）　9.00a.m
11月2日（日）　0.00p.m

1. 組曲　パーセル
2. ヴァイオリン二重協奏曲　J.S.バッハ
Vn Ⅰ：林田紀子　Vn Ⅱ：能見和絵
3. ブランデンブルグ協奏曲第五番　J.S.バッハ
Fl：沼倉多恵子　Vn：蓬田清重　P：霧生トシ
その他数曲
指揮　早川正昭

## 作品発表

10月31日（金）　1.00 p.m

1. 末吉保雄　「インベンション」
2. 塚本靖彦　歌曲「鏡にうつる裸体」
Ten：金谷良三　P：矢野義明
3. 竹内邦光　五管楽器の音楽
4. 佐藤真　弦楽四重奏曲
5. 水野修孝　室内コンポジション

——休憩（10分）——

6. 嵐野英彦　2ème Sonata Pour Piano en Fa
P：中沢洋子
7. 中島恒雄　Study for Flute and Piano
Fl：大沢郁代　P：高橋従子
8. 小杉武久　二つの弦楽器と鼓の為の「謡」
9. 金子晋一　弦楽四重奏曲
10. 八村義夫　「痣（アザ）」（語り手と室内楽の為の詩的モノドラマ」
11. 鵜崎庚一　弦楽四重奏曲　アカデミー弦楽四重奏団
12. 猪本隆　劇風音楽

## 邦楽演奏会

11月1日（土）　0.00 p.m.

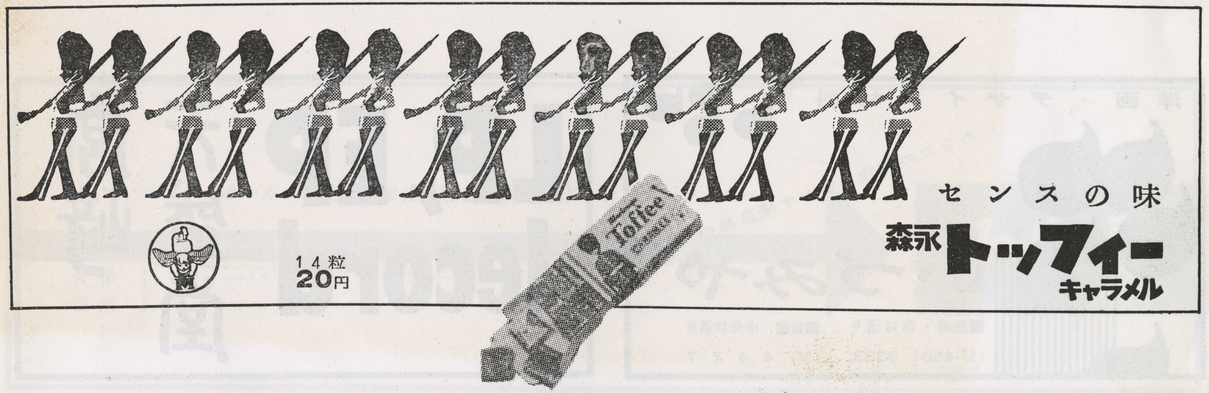
1. 観世流仕舞　「松虫」クセ　北浪照雄
「春日竜神」　小川明宏
2. 宝生流仕舞　「国価」　宮下英子
「経政」クセ　長谷川フク
「草紙洗」　堀靖子
「雲雀山」　井上和子
「黒塚」　榎本千鶴子
3. 観世流仕舞　「田村」クセ　宮永育子
「花筐」クルイ　平沼美子
「船弁慶」　竹中宣子


LPシャンソンの店
Café シャロー
お茶の水店・西口駅前（29）1278
池袋（西口）店・住友銀行ウラ（97）5838

Chansons de Paris
Palais de la Chansons



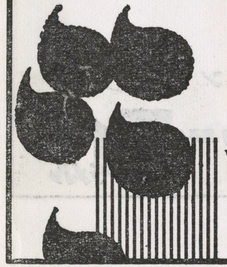

4. 山田流箏曲　「那須野」
箏唄：対馬愛子、小堀まさ子、木原司都子、鈴木珠美
三弦：伊藤松博
5. 長唄　勝三良「連獅子」
高音：関口定子　低音：浅野武二
柿沢実津也　村瀬雄吉
唄：宮武総子　A 杉浦弘和
北野晶子　A 鈴木吉康
松田全代　A 関毅
福山公子　本手 中川昇一
本多貞子　本手 吉井佳代子
住友喜代子　B 荒木倭子
前川誉公　B 中橋ヒナ
浦井克也　B 小屋敷あさ
6. 山田流箏曲　「新潮」
唄：鈴木珠美　箏高音 伊藤松博
対馬愛子　中村利子
木原司都子　岡村公子
高尾悛子　低音 小堀まさ子
7. 生田流箏曲　「秋韻」
指揮：遠藤雅古　Vn：河合外美子　コーラス：声楽科学生
第一箏：白根きぬ子　第二箏：岡野容子
田中孝子　山崎千津子
吉村和子　渡辺玉子
増沢雅子　高垣幸子
富井泰子　飯田かほる
坂東さとみ　野坂恵子
海保照　三星尚子
鈴木一子　三弦：土師慶子
十七弦：佐藤茂生　沢井忠夫

# 美術学部展覧会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建築科作品展 | | 建築科教室 | |
| 図案計画科 | 〃 | 図案計画科教室 | |
| 金工科 | 〃 | 鋳金教室、第一造形教室 | |
| 漆芸科 | 〃 | 金工科 | 1階 |
| 油絵科 | 〃 | 油絵教室 | |
| 日本画科 | 〃 | 日本画教室 | |
| 彫刻科（石井） | 〃 | 石井教室 | |
| 彫刻科（菊池） | 〃 | 菊池教室 | |
| 芸術学科 | 〃 | 本館 | |
| 陶磁器研究 | | 金工科鍛金教室 | |
| 芸大版画部 | | 本館 | |
| 舞台美術研究会 | | 第5講義室 | |


洋画・デザイン材料



あなたの持味をいかす優良品の

いづみや

■池袋・西口通り　(97)4501 9333

■新宿　中央口通り　(36) 4427



LP, EP record

岡崎天盛堂




# 催物御案内

図案計画科喫茶店　“DON”　図案計画科教室

小磯教室専攻科サロン「死ぬまで踊れ」　小磯教室

美術学部茶道研究生有志　もみじの茶会

野球グラウンド

11月2日

自治会主催「フォーク・ダンスの夕」　食堂前

10月31日～11月3日

## 演劇研究会秋の大公演

**木下順二作「二十二夜待ち」**

とき　10月31日、11月1,3日 6.00 P.m

ところ　奏楽堂

スタッフ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 演出 | 長塚安司（芸3） | 装置 | 半田浩也（油3） |
| 照明 | 平川晋吾（金2） | 効果 | 岡倉淳子（油4） |
| 衣裳 | 桜井律子（油2） | メークアップ | 長塚安司（芸3） |
| 舞台監督 | 西岡一（油1） | 小道具 | 村上高明（図2） |
| 大道具 | 舞台美術研究部 | | |

キャスト

| | | | |
|---|---|---|---|
| ならずもの | 笠木茂（油4） | ばあさん | 中島菊子（芸1） |
| 藤太 | 村上高明（図2） | おしょうさん | 長塚安司（芸3） |
| 主だった人 | 高杉治朗（図4） | その男 | 彦根範夫（図4） |
| 村人 | 小川一衛（図4） | その他 | |


ヤマハピアノ・オルガン　楽譜　楽器　電蓄　レコード　テープレコーダー

音楽教室　ピアノ　ヴァイオリン　ギター　マンドリン　ハーモニカ　フルート　シャンソン　ウクレレ　スチール　ハープ　ハワイアン

十字屋

銀座3（56）0850，4245

# クラブ紹介

**●演劇研究会**

今度は、「二十二夜待ち」楽しい昔話。芝居の好きな人達が集って、好きな事をしている中に芝居が出来、芝居という事で友達が出来、違った社会が自分のまわりに出来るとしたら楽しい事です。演劇部と舞台美術部が独立して、部室も持つことが出来た今年からは、芝居そのものを味わわれそうです。絵を学ぶ友、同じ年代の人達の芝居、自分の友が舞台の上である人生を経験したとしたら、他の芝居では味えない自分の身にへばりつくような体験を見る人も得るかもしれません。

**●舞台美術研究会**

芝居という大きな生き物の中でいろいろな生きた歯車がからみ合っている、その中で一番身近で芝居の世界に入りやすい舞台美術部が新設され芸術祭には模型舞台を展示してます。

**●社会科学研究会**

ＡＬＣ会と互助会が合併し、今年の５月に社会科学研究会が発足し、まだ６ヵ月に満たない。赤子のうちに科学的探究心の欠乏した人間の集合体の中で成人なみの活躍をした。社研に属する人間は絵だけしか描けない片輪者のなかで比較的全人間的に解放された人間らしい人間である。革命的芸術理論と芸術作品が20世紀に誕生するとすればそれはこの社研を除いては生れる余地がない。

**●山　岳　部**

山女半数、残余は、カモメカ、大熊、小熊等キセルがうまくて

昼寝がうまい。ザイルを肩にヨーデル歌って日が暮れる。

**●ラ グ ビ ー 部**

“参加する”がスポーツの精神である。当部では忠実にその精神を守り勝負を問題外にしておもしろく試合をしている（参考までの最近２年間の成績では無勝を誇っている）

皆様に１人でも多くラクビーを楽しんで欲しいんです。芸大で古く伝統を持つ我部の歴史にのこる１勝のフイフティンの１員になれるのかも知れません。

**●空　手　部**

伝統の浅い空手部は、毎日かかさず昼休みの練習により充実の度を示し、部員一同張切っています。本年６月に行われた第６回東京地区国立大学大会に出場し、九校参加、第２位となり、来年の大会には優勝をと日本空手協会より指導員を向え練習中です。空手は単に優れた威力を有するということではなくして、健康な肉体、俊敏な感受性、不屈不撓の精神力が倍われると思います。練習の汗は尊いものです。

**●ボ ク シ グ 部**

“相手がジッとして居たらどんどんなぐって行け”なぐって来たらもっとなぐれ！倒すか倒れるか、四角のジャグルには自分以外にたよるものがない。ボクサーは人間の面をした野獣なのだ”てなことと我々のボクシングは少しばかり事情が違います。校庭の片隅に登山用のザイルを使って、造られる取りはずしまつたく自由のリングは、四角のガサヤヅといった所。そしてスパーリング（なぐりあい）の最中には鼻の上にみの虫が降りて来るといったきわめて悠長なものであります。

その昔、金子徳次郎氏（インダストリアル・デザイナー）が始めて美校ボクシング部なるものを造り、部員１名のため閉部のやむなきに致っというほこるべき（？）伝統を持っております。



文房堂製の
専門家用油絵具
ポスターカラー
版画と彫塑材料
文房堂
東京 神田スルガ台下

GOOD DESIGN CORNER 7階
松屋
銀座

ピアノ，オルガンのことなら、東京駅八重洲南口前
八重洲ピアノ
(28) 0980~3, 0501

ピアノ，オルガンのことなら、東京駅八重洲南口前
八重洲ピアノ
(28) 0980~3, 0501

ピアノ，オルガンのことなら、東京駅八重洲南口前
八重洲ピアノ
(28) 0980~3, 0501

FOR LADIES' FINERY
美しいお洒落
2階・モードの婦人服
イージーオーダー お仕立5日間
ギンザ
三愛

建築科
彫刻科
油画科
日本画科
芸術学科
食堂
WC
WC
WC
WC
図案科
デザイン展
ドーム
食堂
音楽学部
奏楽堂
WC
東京芸術大学略図
うえの
うぐいすだに

# 科

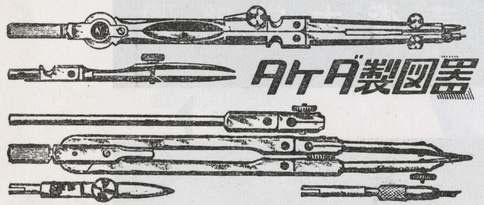
## 美術学部

### ●日本画科

チョットとりすましたとっつきにくい連中（？）いえいえどういたしまして。チョットマッチをつければ炎上してしまいそうな（？）そんな校舎の２階の南側を占領している。まあ体が炎のような若者族なんです。全くよく勉強しますよ。（もっとも絵ばかりではありませんけれどね）なにしろ教室がせまい事と時間がない事には閉口なんです。そうですね１人が４尺×６尺の仮張りをおきますと17、８人の人達ですからもう歩くのにやっと。たまたま偉大な足がありますと、人様の仮張りを“ブスリ”“アラーゴメンあそばせね”かと思うと人のたらした絵具が、丁度イメージに合った色だとかいって喜んでいる人もいますしね。又時間がないといったら全くデイトする暇もないんですからね。“あんな美男、美女がそろっているのに、まあもったいない”なんてよく言われるんですけど……。これも大観、青邨につぐ画聖となる修業とあらばたとえ火の中、水の中なれど筆から離れる事は出来ませんものね。なんですか、この大切なボロ校舎内での火の使用率が一番はげしいとかで最近ではめっきり取締が堅固になりましてね、５時になりますとチャント火を消しに来るんです。そんな時のおじさんの顔は地獄の鬼位にデフォルメされちゃいましてねえ。そうそう今日の日本画？まあ、それは会場を御覧になって下さい。

### ●油絵科

彼等ノネンティティは肉体文化施設を何と考えて制作しているか。女性の前と後の標本を４年間においていかに人間として扱うか、又世紀の屍体置場から化粧されたバルザック、ヴィナスをどのようにして紙の上で発見するか、忘我の斑点が空虚の顔に表われるまで寝返りさえ打たないと心に決めているのだ。しかし芸術大学には天才教育は存在しない。学校は学校として生徒を縛る。彼等は邪魔をしないでくれと言っているだろう。それだけに混沌とした矛盾だらけの価値のない絵を大量生産するのだ。しかし何もない彼等はそこに彼等の存在を確めようと努力している。あくまでも自分を突き離す態度も忘れてはいない。４年間とは単調な顔で過ごさなくてはならないし複雑になる以前を画用紙の中で模索し学校を出なくてはならない。故に秀たる生徒も存在しない。しかし生きる態度はすばらしくヴィダルだ。こんなにまで人間臭い集団はこの中に入って初めて知る事が出来るのではないかと思う。彼等の存在の必然性もここにある。

東京神田須田町角（25）0559・4070・7015

BOOKS

洋書　美術．建築．デザイン　専門輸入

株会式社　東光堂書店

東京都中央区日本橋通り・中内ビル
電話　東京28局（28）7067・7068番
振替　東京 67687番




### ●彫刻科　菊池教室

人類の歴史に最も早く現われる造形は彫刻である。それにもかかわらず芸術としての独立を確立するのに終始困難を覚えてきた。現代はどうか、我々はものすごく非彫刻的、非人間的な世界の住人。上野の山の若き彫刻家達は心の中で哀しく呟く。彫刻を自分達の手でつくり、粘土と石と自然と取っ組むだけなのに４年間は短い。そして又人生ははあまりにも短い。しかし一方においては彫刻の独立性を確立しようとすると共に他の芸術に比して今後多くの復活の徴候を示してやまぬ仕事に、全精神を集中しているんだと。失望と希望の連続。だが彫刻は１つ１つ築かねばならない。

### ●彫刻科　石井教室

人は一度は死ぬる。だから俺達は思い切り充実した生命を感じたいのだ。胃袋は充実した事はないが胃袋なんて単に偶体維持するための下水道みたいなもんだと思っている。焼け死ぬ迄××の太陽をにらんでいる。なかなか死なんので、わざわざ山へ行く奴が石井には多い。彫刻科の教室が２つに分れている。それが前近代的なギルド制度の残骸ならそれも結構。トルソーや頭首の制作指導がマスコミ的にやられたら俺達はみんな直ちに反乱軍を組織するだろう。提案。少数者のための芸術がこんな変な時代に存する事は一種の抵抗じゃないか。——陰の声曰く。そんな理屈はどうでもよろしい。要するにヤレヤレ……。

### ●芸術学科

合奏協奏曲―不協和音に満ちているが大マジメにゲンシュクに奏される。

第１楽章　やや速く、希望に満ちて……
第２楽章　緩やかに、失望と懐疑……
第３楽章　始めゆっくりと次第に速く……各パートの自由なカデンツアが入る
第四楽章　速く（遁走曲風に）

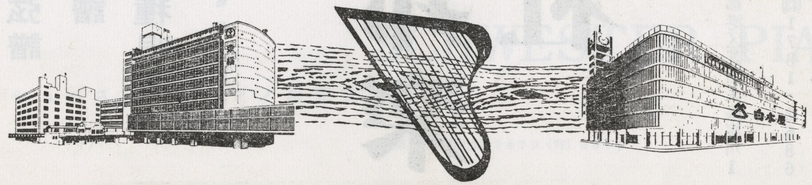
打楽器の強烈な序奏、はっきりしない第１主題、ゆううつな第２主題、あわただしい終曲。

### ●漆芸科

China は陶器であり Japan は漆器を意味し日本の代表的工芸品である。この二千年来の伝統技術を現代に生かすことが我々学生の使命である。あの柔かい感触と光沢——サア皆さん自由に手に取って鑑賞批判して下さい。ヨクを言えば使ってみていただきたいのですが……。どうぞ漆芸科作品展へ。


さわやかな秋のお買物は

渋谷・池袋　東横



日本橋　白木屋

●金　工　科

動物園の柵がどうしてこゝまでのびなかったのかと……
ゴジョウダンを。
ほこらかなカオリフンプンとこゝ最高の生もののすみか。
カラダ太初にたくましく、
ココロ現代にするどく。
ほり、たゝき、しぼり、いこみ、
冷徹な金属と云うシロモノに生命を。
砂と騒音の房の中から、
立組に乾杯、若き獅子たち。**ワレラ**

●図案計画科

デザインの事を喋らせたら、勿論原稿用紙の10枚や20枚はたちまちのうちにです。書きそこなうのです。だから止めます。駄酒落を書かせたら50枚や60枚、勿論オーバーします。だからこれも止めます。早い話がデザインの事は図案計画デザイン展を、駄酒落は直接会って下されば。雨が降れば天気が悪い、てな顔したのが図案計画の学生です。

こんな連中にもしゃっきりするときがあります。そうです。芸術祭です。ダッテ女の人がいっぱい来るもん。

女性のこと、とても恐しくて書けません。

●建　築　科

「さて／」彼はつたのからんだ赤レンガの建物を見上げてつぶやいた。彼は今、課題を出し終えた処である。草の中に座っていても睡眠不足の目には、のんびり動いて行く雲すらまぶしい。幾枚かの図面を書き上げた時、彼は思った。「これを見たらコルビュジェだって感心するさ」だがそれらを出してしまった今、逆に心配なことばかり。——あのコンクリートの梁成は、やっぱり1mにすべきだった。パーキングスペースが足りないな。仕上材料がハデすぎたかな？ etc ——でもそんな心配はすぐどこかへ行ってしまう。彼はポケットの金を指先で数えて見た。2百と40円。「バイトの payが明日入るんだが……しかたがない今日はワリカンだ」きっと久しぶりにどなたかと映画にでも行くのだろう。

「さて／」彼はもう1度言って立上った。「昼めしでも食うか……」

彼とは有能な建築科の40数名（正しくは内2人は彼女）が周期的に扱する人物なのである。

音楽学部

●声　楽　科

音楽学校と名の付く学校で、日本一の競争率を誇る我が声楽科は優秀な学生を沢山かかえて居ります。おまけにその学生の純心な事と言ったら、まるで赤ん坊のようです。

皆は学校が楽しくてたまらず、その出席率のよい事と言ったら、まるで小学校のようです。先生方も皆、熱心な方ばかりですから、他の大学のように休講などと言う事はほとんどありません。ただ台風や地震があると、自分達の学校がつぶれやしないかと本当に心配します。校舎がつぶれると楽しい授業が出来なくなってしまうからです。でも幸いな事にその前に立派なコンクリートの校舎がすっかり完成する予定です。私達は幸福です。少しぐらい不愉快な事があっても、大きな声で歌を唄えば、たいがいの事はきれいさっぱり忘れてしまいます。そして食欲も旺盛です。食堂のハンバーグライスは本当においしいんです。

だけど只一つ私達にも悩みがあります。

あの……卒業したらどなたか雇って下さいませんか？

●弦　楽　科

管楽器の連中に言わせると「弦にはルーモー（注芸大（音）における女生徒の呼び名）が多い」そうだ。なる程多い／だが一見デリケートな弦楽器に女性が集まるのも無理のない事だろうと思う。そのせいがヴァイオリンはその殆んどが女性で占められている。でもヴィオラ以下コントラバスに至る低音楽器群には、今が流行の低音でもさすがにいないようだ。ピアノ科の連中は、弦楽科を評して「甘すぎる和菓子みたいな感傷詩人」と言っているがそれもそんな訳でうなずけると思う。ただ「時には大ラッパを吹くと良い」との弁には、弦楽科にラッパを吹けるのはちょっと出来ない相談と一言お断りしておこう。

最後に弦楽科は皆「芸術のための芸術」に向ってただ一途に専念している事を付加えておきたい。

●器　楽　科（管打楽器）

春はあけぼのより新館四階にてラッパ、フエ、タイコなど勉強したるは「新入生」なる勉強家なり。

夏は夜。ピータ（演奏旅行）の時はさらなり。夕食後、一人二人など連れ立ちて旅館より消え行くもをかし。

秋は夕暮れ。前期試験の終りて芸術祭のいと近うなりたるに、ジャズ喫茶などやるとて三つ四つ、二つ三つなど、リズム数えたるもあはれなり。

冬は専門試験のありければ、つとめて練習にはげむころなり。いと寒きに、手のかじかみてキーをおさえられず、火など急ぎおこさんと、火だね盗みてくるもいとつきづきし。昼になりてゆるみもていけば、ねむくなるのは人情なり。試験の近づくはいとわろし。

●ピ　ア　ノ　科

ピアノに専念する人はいくらピアノの事を考えても考え過ぎることはないと、大ピアニスト達が語ったように、ピアノ専攻生は朝夕ピアノの事を考えている。そのためか、どうも自己本意になるような気がする。入学当


三弦譜
箏譜
各種唱本
（出版総目録送呈）

# 邦楽社

東京都港区芝西久保桜川1
電話(43)1781・2686
振替　東京　4496　12875

SCHWESTER PIANO
シュベスター・ピアノ販売株式会社
東京都大田区北糀谷町2479（73）9071

所は授業時間も多いので友人と行動を共にする事も多いが、年経つにつれて、皆が集まる授業は少なくなるので、自然会う機会も減る。1学年の人数は平均22～24人位だが男性の数は少なく、多い学年で6人程。私達にとって一番つらいのは伴奏であろう。伴奏1時間につき1コ、レッスン担任教師から印をもらい、45時間で伴奏の試験を受けなければならない。又4年間に12回（合奏3、伴奏9）の試験もある。学内ではピアノ科が一番真面目だと言われるが、逆に、最も融通のきかない科であるかも知れない。

**●作　曲　科**

1年。和声学、対位法等と言う面白くもないものを夜もろくに寝ないで勉強して、あこがれの芸大作曲科に入学した手前、半年位は一生懸命「音楽の本質とは？」とか。「バルドークの音楽は云々」とか。友人に議論をぶっかけ、まるで一人前の作曲家になったようなつもりでいる、おめでたい年。

2年、3年。まるでどこかの国のお役人の仕事のような、底の浅い、表面だけの音楽製造方法をたたきこまれ、自宅と学校の食堂を往復して、あたら若い生命を消費しているもったいない年。

4年。自動車の免許をとるようなつもりで、毎日講義に出席、来年のめしの種のことを心配しながら、いねむりをし単位をかせぎ、作曲をやめようか、どうしようかと迷っているあわれな年。

こうしているうちに一応目出度く卒業し、完全な失業者になり得る可能性大なり、と言う科が、この作曲科と言うものである。

**●指　揮　科**

先ず世帯は教官4名学生2名卒業生が開学以来3名と言ったところ。3年次よりの転科試験ともなると、体重が2貫位減って了う有様です。他の科の如く、ルーモっ気は全く無く、各科別の遠足の時等は銀座あたりで済ませて了う簡潔さ。平常はオーケストラのメンバー諸君も、気易い友達だけれども、いざ指揮台の上に立ったときは、各自専門の武器を持ってくる、そのおそろしさ……だいたい人間とは夫々専門の立場に立ったときは、平常の数倍の強さを示すようです。多いときは1対80位、兎も角、指揮者は人間としての魅力を造りなければならないし、一に勉強、二に修養、道徳教育の教科書の題材になるような生活を送らなければなりますまい。この芸術祭における責任の重さも最大のようです。絶対に病気の出来ない仕事、これらの重さに耐える体力も必要です。再現芸術の理想に向って精進します。

**●邦　楽　科**

音楽学部の一端にあるこの科は、少人数ではあるが、日本古来の情緒豊かなこの芸術に、尽きない興味を感じ、その上に新鮮な息吹を吹き込もうと、日夜、作曲に演奏に又後進の指導に努力して居られる名先生のもとにあって、それぞれ懸命に努力して居る。演奏会での紋付、ハカマ姿は又この学校内での異色的なものである。ここで一寸邦楽の特徴について、その一部を述べると、邦楽は、一見単純にみえるリズムが実は非常に複雑であって、それを学ぶ事が容易ならざるものである事と、音色の美を追求して止まざるものであると言う事も又、大きな特徴と言える事であると思う。

現在先生約10余人、生徒70人で、科の中には長唄、箏曲（生田、山田両流）、能楽（観世、宝生両流）が含まれて居る。

**●楽　理　科**

私達楽理科の者はよくこんな質問に会う。「楽理科とは一体何をする科なのですか」「楽理科の人は卒業したら何になるのですか」こんな時私は「楽理科とは音楽するのさ』卒業したら素人の専門家になるつもりです」とはっきり言う。この答えが当っているかどうかは知らない。けれども多かれ少なかれ楽理科に入ってくる人は音楽が大好きである。それだからこそ音楽を聴いた時のあのもやもやっとした感じをもっと自分のものとしてはっきり摑みたい。実際に作ったり演奏したりしてその中にひたりこむのはもちろんだが、もっと客観的に理性的にながめたいと考えている。この音楽への愛情は恋愛の法則からいっても最高のものである。それだけに一層私達はいつも反省してその最初にして一番根本的なほれこんだ時のあの気持を失わないようにつとめている。そして私達は文字通り音楽する――心の底から深く音を楽しむ――ようになろうとあっちの方面、こっちの方面へと慾張り続けている。

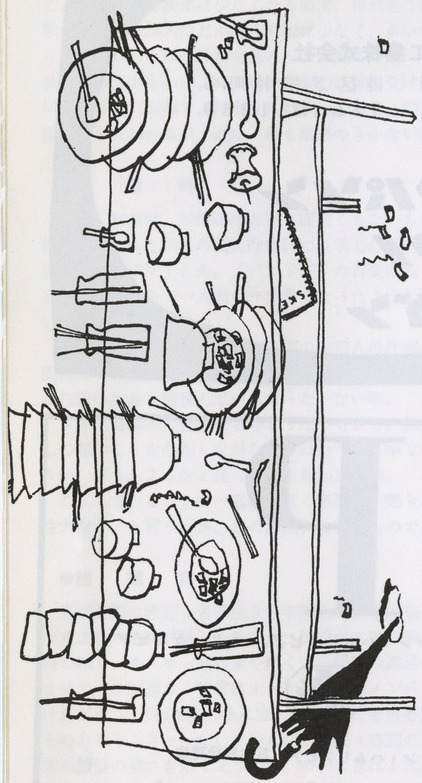


世界のピアニストの讃える……
YAMAHA
山葉ピアノ
オルガン
日本楽器
銀座7丁目　TEL（57）5691

浜松楽器工業株式会社
東京営業所　港区芝田村町5
TEL（43）1269
ディアパソン
ピアノ
オルガン

新発売
伝統が生んだ最高の品質
「カイザー」
ピアノ
オルガン
河合楽器
京橋3の4　TEL（28）2706～7

P
世界最高 メイソン・ハムリンピアノ ホルーゲルピアノ
ONO
メイソン・ハムリンピアノ日本総代理店
小野ピアノ
東京 銀座 五の三　TEL：(57) 0501・0502・3501



# 食堂の話

食べること、辞書には生活することともある。生物体として存在するにはどうしても必要な行為であることは、いくら芸術家の卵の集る所とは言え、食堂で饅を売ったとはついぞ耳にしないし、食う事が嫌いで食堂には一歩も足を踏入れなかったという男の話も聞いたことがない。学校すなわち食堂の観念も今昔あまり変りがないようであるし、多くのエピソードが食堂から生れた。学校中のどの壁よりも食堂の壁ほどつぶさに学生気質の移り、時の流れを見て来た壁はあるまい。がいつの時代も食堂は楽しい所だ。そこに行けば友達がいるし、愉快な話は待っているし……食堂万才。

総て半世紀前の話、美校の食堂には勘解丸（カゲマル）と言う洋食屋が居て、トンカツの香をプンプンさせた、金持の息子共は皆此のランチを自慢そうに喰った、我々スカンピン連口惜しさの余り、ソレナラバと言うので悪童共、クサヤの干物（ヒモノ）を持参して、食堂の火鉢で焼いた、臭気四辺を圧して、洋食の香なんが消飛んでしまった、どうだ降参したろうと大きな面をして居たら、勘解丸のオッサン、どうぞ此の臭い許りは御勘弁と妥協を申込んで来た、妥協賃にトンカツ５枚クサヤを封じられたので何んに仕様かと直ぐ次の手を考えた。

画家　池部　釣

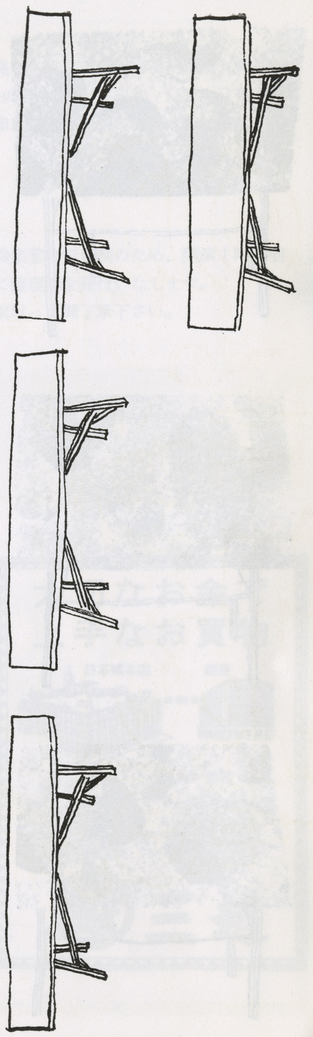
食堂でたべたのは朝飯ぐらい。学生時代は今言うアルバイトで稼ぎ学校に通っていたので、来る日も来る日も深夜まで仕事をしていたので朝寝坊する。目がさめると素早く服を着てとび出しても授業に間に合わない事が多い。授業に間に合わないときには食堂でミソシルをすする。少し金廻りの良いとき美術館の食堂に足をのばし、仲間と一緒にトグロを巻いていた。美術館の食堂は図案部の巣のようなものであつた。

グラフィック・デザイナー　大智　浩

（大変面白くためになるお話のあとで）
今言った事はまずいな。小池さんなんぞに読まれたら怒られちゃうよ。
（だから紳士協定により差控えました）
それから僕達のときは学校以外のところで安く食う方法を考えたもんだよ。車坂の方にてんで安い所があってね、こんなでっかい鍋の中に（とφ750mm位の円を手で）ごてんごてんにカレーが入っていて、そこへ俺達が行くとオヤジが肉をパラパラッと入れて（と、粘土模型に石膏をふりかける調子で）かきまぜちゃうんだ。だから肉なんぞ無いんだよ。そいつがポチッと肉でも有れば、オッ、今日はラッキーだ、てなもんさ。これがパラパラカレーの話。それからトリマゼパンに良く行ったよ。永藤で前の日に売れ残ったやつを、１コ５銭のところ３コ10銭でね（なんとうらやましい単位だろう）、チョコレートやクリーム、何が入っているか来るまで解らない仕掛になっているんだけれどね、とにかく３コ10銭。それと水。女の子が持って来るとテーブルの砂糖をサーッと引込めちゃうんだよ。パソパソだから食っているうちにツバが無くなっちゃうんだよ。もっぱら水のおかわり。美校専門のパンて訳。これがパソパソパンの話。食堂じゃ将棋を良くやっていたねえ。今でも有るかい？（今はものすごく汚い碁が有りますよ）ふうん。向井の早指しか早指しの向井かってなもので（彫刻家向井良吉氏の事）、とにかく早いんだ。チャッ、チャッ、待ったなしだよ。５分位。ウーン、駄目かってなもんでおしまい（以上すべて実演つき）。こんな事書くの？　いいにしといてくれよ。（デモ良いでしょ、面白いですよ。ここで、タマキ、腹が減っちゃってんで駄目だ。飯まだかい。）

インダストリアル・デザイナー　由良玲吉氏談

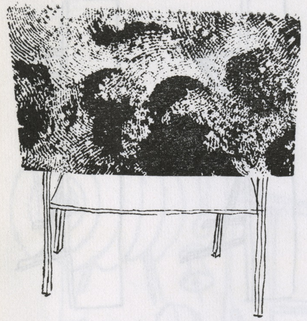


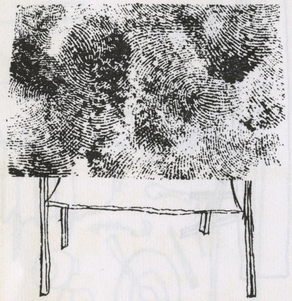


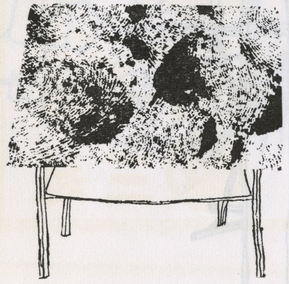
美校時代の食堂の思い出を書けという。芸大美術部の今の大変みすぼらしい食堂に比べてどうだったかという。成程ナアという気持がした。その気持はここにいうまい。
昔の食堂、それは建築科の赤い煉瓦の建物の裏のつまり絵具店の左側のあの薄暗い建物であった、今と同じように。勿論校内に絵具店などという便利なものはなかった。便利という点では今もそう昔と変りないが、弓場もあり相撲場もあり昼寝する築山もあった。
食堂にはピンポン台が２台置いてあって正服正帽の学生の連中がピンポンしていた。
今のロカビリー青年よりいくらか気弱なモダンボーイといわれた学生もいて、ラッパのような先広がりのズボンをはいていて、タップのステップなど踏んでいた。この連中も食うものはカレーライスやコロッケであった。食堂で食べられるのは以上の他にハヤシライスとカレーパンであった。それとシロップのようなコーヒー。田舎から出て来た私はカレーパンというのが嗜好に合って多くはこれを１つ食べた。殆んど肉の入ってないカレーがサツマイモ型のパンの中に入っていて、油で揚げて塩をパラパラとふったものであった。カレーライスもカレーが青っぽい色をしていた。どちらもまずくはなかった。カツライスやコロッケというのもあったかと思う。それだけの食堂であった。

画家　山口　薫

芸大音楽学部の食堂、それは勿論学生のためのものだけれど、今は広々とした建物であり、そこが学生たちの集会の場所であり、休息の場所でもある。音楽学部では、学生の室を設けて３、４年続けて来たけれど、今年度は、教室の不足などの関係でそれもなくしてしまった。けれど、学生たちは、学生の室があった時にも、あまり利用しなかったようであるし、今、なくなってしまっても、あまり不便も感じていないようでもあるのは、キャッスルという立派な建物が存在するからかとも思う。昔、といってもそれはもう40年も前の話になるけれど、その時分には食堂というものはなかったし、学生の室というものもなかったし、一体学生たちは、どこで休息をし、どこで食事をしたのであったろう、と考えてもあまり印象がはっきりしない。食事は、桜木町あたりの一膳飯屋やそば屋などに行った記憶がある。弁当など持って来た時は、教室の片隅で用足しをしたようだ。冬の日など、弁当の冷たくならないためには、今の奏楽堂の下の方の汽缶室のかまの上に、新聞紙で包んでのせて置くと、昼頃までには結構暖まっていた。その当時は、学校全体に大きな鉄管を通して、その中を熱湯が通るようにして、室を暖めたのである。さて、食堂というにはあまりにもなさけない小さい建物が、今のキャッスルの近くに建っていたにはいた。それは、中へはいると、畳２枚敷ける位の広さの土間で、そこに机らしいものが１つ、椅子が２つ位置いてあって、その片隅の方で親爺さんが、カツレツやコロッケ、ライスカレーなどを作っ







て、売ってくれた。そこの場所が空いている時は、その中で食事をすることができたが、如何に学生の数が少いといっても、男女合わせて 300名位はあったし、先生たちも加えると、相当の数であったから、その人たちが、いっしょに押しかけると、とてもその建物はつぶれてしまう。幸にもあまり混んでいたのを記憶していないから、大したことではなかったようだ。カツレツが5銭、ライスカレーも5銭か10銭であったろう。ところで、その店（？）の名前だけは大したもので、金亀亭!!。鉄道のふみ切り番の小屋の気のきいた位のもので、夜、道路の傍に出る屋台店と大してちがった感じのものでもなかった。私は、親せきの家に置いて貰って、そこからお弁当を作って持って来たが、どうも、納豆にならない前の、みそ豆というおかずを入れられた時は、どうにも御飯が食べられず、しかたなしにその金亀亭の御厄介になったのをおぼえている。ずい分昔の話で、音楽学部の今の先生たちで、その金亀亭のことをおぼえていられる方も少いと思う。

音楽学部長　下　総　皖　一

私達の頃は今の売店のあたりに金亀って云う食堂があってネ、狭い所だったけどそこのオバさんが又変っていて、夏になると腰巻の上にじゅばん、割烹着と云ういでたちだったわ。おまけに洋食を作るのが大きらいで、ライスカレーなんか注文しようものなら、お塩の入っていないのなんか出されてネ、参ったわよ。それから校門のそばに焼芋屋があってネ、男性なんかが休み時間に買いに行って、授業中まわしながら食べたり、桜木町に一膳飯屋があって、その頃牛めしが一杯十銭だったかしら、労働者と一緒に食べたわ。愛玉子って云う台湾料理を食べさせる店に、正男さんって云うハンサムがいてね（先生お通いになったのですか）、けれど大半はお弁当持ちだったわ。（そう早く話をそらさなくても……）

黒沢愛子助教授（ピアノ）談

衣食住は当面生きて行くについて欠くことの出来ない条件ですが、我が芸大が他校に比して如何に個性的だとは言え、この例にもれるものではありません。

衣料の問題については学則にもあるように、奇異な服装でなければ何を着ても良い事になっているので、夏ともなればマイアミの浜辺以上かと思われる程、色彩豊かな情景を展開する事になり、奇異なものが奇異でなくなるという、芸大ならではの光景となります。そして自由というものの楽しさ、いやらしさを充分味わう事が出来ます。ところで食の問題は……。ともかく皆様を音校食堂へ案内しながら話を進めて行きましょう。

正面玄関を入って真直ぐ暗い廊下を行くと湯呑所にぶつかります。その裏側が音楽学部食堂キャッスルです。ここを根城としている学生をキャッスル族と呼びます。入って先ず感じる事は薄ぎたないと言うより、はっきり不健康と言った方が当を得ているかも知れません。古ぼけた卓と底のあいた椅子があちこちに散在しています。すみの黒板にはその日の献立が出ておりますが、日によって特別変ったものが出る様子もありません。これらの献立には口の悪い学生のつけた通称があります。ペーパー・カツ、半バカステキ（ハンバーグステーキ）、三文フライ、ふのり（スープ）、仲々傑作なものです。それからこの食堂の名物は何と言っても看板娘和子さんの金切声と記憶力でしょう。Yチャーン、ハンバーグ一丁出来上りー、Hさんはコロッケ・ライスでしたわね、S子さんのサーモン（サーモン）は御飯少なく、のべつ叫んでいる姿は昼頃なら必ずやお目にかかれます。ここで学生は食事をする他音楽を語り借金をとりたてる人の噂をし、伴奏者を待合せアルバイトをさがし、つまり授業以外のすべてをここでするのです。ブランクの多い日など半日以上ここで過



す学生も沢山います。このように食堂は学生にとってなくてはならない所になっています。学生の居間なのです。最近に至り新館に少し休憩所が出来たので徐々に良くはなっていると言いながら、全学生数を考えると憩う場所の少ないのは考えさせられるものがあります。昼時をはずしてキャッスルに行ってみると、恋人同志でしょうか、片隅に席をとった二人が親しそうに話し合っているのを見かけます。

そして、何から何まで古いこの建物はそんな学生達に祝福を贈るかのように、上野の森の一角に建っているのです。

声楽3年　村　上　　徐

この覧に原稿をお寄せ下さった諸先輩、先生方に厚くお礼申上げます。

（芸術祭プログラム編集委員会）

## 編　集　後　記

学生と言う身分も忙しいもので、学校の勉強の外に広告を集めたり原稿を頼んで歩いたり。芸術祭プロなどと鉛筆でラフに書いた、少ししわくちゃの紙袋を持ってのそのそ歩きまわっていると、ハテ自分は何だっけ。でも芸術祭前の何とはなしのあわただしさと少しずつ冷くなる空気も良いもの。

実際仕事にかかる前にはズバ抜けて素晴しいパンフが出来るつもりでいたのが、仕事が進むにつれてこんなじゃなかったと自分の力無さに愛想をつかしながらも、貴重な時間を裂いて原稿をお寄せ下さった先輩の方々や先生方、心良くデザインを引受けてくれた友達の気持にはげまされて、どうやら出来上ろうとしているものを見ると、自分はこの中のどこにいるのだろう。このパンフが一部なにがしかで売られて、単に芸術祭の予算をうるおすだけでなく、御来場下さる方々と学生の間のギヤになればこの上ない成功だけれど、反対に回転するギヤだったりして。

**芸術祭プログラム編集委員会**

DIRECTOR

| | | |
|---|---|---|
| 声 | 3 | 大川　浩 |
| 声 | 3 | 長広比呂志 |
| 図 | 3 | 金子修也 |
| 図 | 2 | 石岡瑛子 |
| 図 | 1 | 及部克人 |

DESIGNER

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| アート・ディレクター | | 図 | 3 | 金子修也 |
| 表紙 | | 図 | 3 | 河野葵 |
| グラフ | | 図 | 3 | 福井政弘 |
| 地図 | | 図 | 2 | 金井淳 |
| レタリング | | 図 | 3 | 望月積 |
| イラストレイション | | 図 | 3 | 蓼沼敏夫 |

仮装ポスター　榊原晋、晏（図2）　芸術祭ポスター　河野葵（図3）

発行　東京芸術大学芸術祭運営委員会
1957年10月20日印刷　11月1日発行
印刷　富士美術印刷株式会社
（非売品）

奏楽堂は定員制のため、開演1時間前に整理券を発行いたします。
前以って御了承下さい。

新校舎落成！

デッサン部・図案部（含建築）

普通科・受験科・研究科

実技指導　毎日午前・午後・夜間・

学校法人　服部学園

DK

## 御茶の水美術学院

東京都千代田区神田駿河台2の3　TEL(29)0820

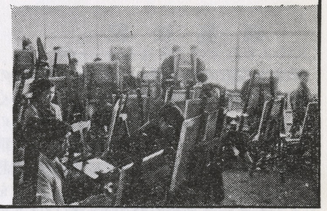
## 阿佐ヶ谷美術学園

学園
- 建築デザイン科
- デザイン専門部
- 工芸デザイン科
- デッサン科
- 油絵科

研究所（日曜）
- 色彩科
- デッサン科

児童教室

附属機関　阿佐ヶ谷洋画研究所
教育美術映画研究室



杉並区高円寺3の184
都電・バス杉並車庫2分
国電・高円寺駅南10分

技術と信用を誇る調律師の店

ヤマハ・シュウェスター・ベルトン・外優秀舶来品

渋谷区上通1-4（40）1807青山六丁目電停前

## 東和ピアノ商会

## BÖSENDORFER
## STEINWAY

その他外国優秀楽器，LP，楽譜等

株式会社
松尾楽器商会

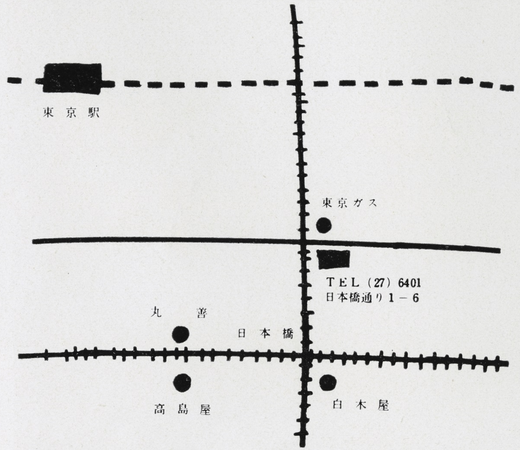
東京都新宿区舟町9番地　電 35-0867　34-1840-3887

楽しいお買い物は……

上野
銀座
松坂屋

芸大生いこいのコーナー……画廊喫茶

## メイコー



（パーティー，会合に御利用下さい。）

TOKYO UNIVERSITY OF FINE ART OCT. 31→NOV. 3 1958